

探究・校務改革
支援補助金
2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

ライフイズテック株式会社

【サービス名称】

ライフイズテック レッスン「双方向・JSコース」
ライフイズテック レッスン「情報 I 全対応コース」
ライフイズテックレッスン「情報 I AIドリルコース」

【サービスの支援項目】

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

2026年1月



Life is Tech!

Lesson



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

新学習指導要領(中学技術科/高校情報科)に対応し、専用ソフト不要のブラウザ完結型で手軽に導入可能です。類似サービスとの違いは、Webサイトなどを実際に「作る」体験学習を通し、生徒の学習意欲を最大限に引き出す点です。つくる喜びから、Society 5.0に必須の高い情報活用能力の習得効果を実現します。

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

生徒は、AIキャラクターによる進捗に応じたナビゲートと、コード入力の即時反映により、つまづくことなく自律的に学習できます。先生向けには、進捗管理ツールで生徒の理解度を把握し、個別最適な指導を実現。授業準備や進捗確認などの業務を大幅に効率化し、指導の質の向上と負担軽減に貢献します。

(3) サービスの活用場面

新学習指導要領に対応した内容で、中学校技術科「D 情報の技術」や、高校「情報 I」の授業・探究学習で活用。2025年からの共通テスト「情報 I」対策にも利用可能。また、自治体向けに、学校間格差是正を目的とした教員研修や全校一括導入の支援としても活用されています。

(4) 1サービスあたりの標準販売価格



中学技術科向け
双方向・JSコース



高校情報科向け
情報 I 全対応コース



高校情報科向け
情報 I ・AIドリル

<利用料金(税抜)>

教材アカウント費 2,200 円/名
導入サポート費 4,400 円/名

<利用料金(税抜)>各コース

教材アカウント費 2,500 円/名
導入サポート費 7,500 円/名

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

コンテンツ型とスライド型の2通りの教材

「実習」と「座学」の往復を通じて理解・定着を促す

This block displays a collage of educational materials. On the left, there are screenshots of a bakery-themed website and a presentation slide titled 'Mom's Bakery PREMIUM BREAD'. A speech bubble labeled 'コンテンツ型教材' (Content-type material) points to these elements. On the right, there are diagrams illustrating software concepts. One diagram, titled 'ソフトウェアについて' (About Software), shows a hierarchy from 'ソフトウェア' to '基本ソフトウェア' (OS) and '応用ソフトウェア' (Application). Another diagram, 'OSの働き' (OS Function), shows the interaction between 'ハードウェア' (Hardware) and 'アプリケーションソフトウェア' (Application Software) via the 'OS' (Operating System). A third diagram, 'OSとアプリケーションソフトウェア・ハードウェアの関係1' (Relationship 1), shows data being passed from a user's keyboard to an application via the OS to a display. A speech bubble labeled 'スライド型教材' (Slide-type material) points to these diagrams.

教員向け 授業キット

授業時数にあわせて円滑な授業準備・実施・評価をサポート

This block features a grid of eight icons representing different components of the teacher support kit. Each icon is accompanied by a text label below it: 1. An orange document icon labeled '指導案' (Lesson Plan). 2. A blue monitor icon with a slide, labeled '授業のスライド' (Lesson Slides). 3. A red starburst icon with the letter 'A', labeled '評価指標' (Evaluation Indicators). 4. A blue open book icon labeled '先生用教本' (Teacher Textbook). 5. A green pencil icon labeled '小テスト' (Small Test). 6. A purple ruler and set square icon labeled '補助教材' (Supplementary Materials). 7. A yellow checkmark icon labeled '進捗管理画面' (Progress Management Screen). 8. A red speech bubble with a question mark icon labeled 'よくある質問集' (FAQ).

専門性の高い学習内容の指導に伴う準備・評価などの負担軽減と 学習の質の両立を実現するサービスを提供

児童生徒・教職員が抱える課題

(1) 授業準備に必要な時間の確保

教材研究、実習題材および環境の作成、指導案作成等の授業準備に大きく時間を取られている

(2) 評価に必要な時間の確保

生徒の学習成果を、観点と対応させて評価することが難しく、評価にも大きく時間がかかっている

(3) 専門性の高い内容の授業における不安

中学校領域：情報セキュリティ・ネットワーク・双方向
高校領域：プログラミング・データサイエンス
といった、専門性の高い内容の学習および、指導が必要となり多くの生徒・教職員が学習に不安を感じている

サービスが果たす役割

教職員の業務効率化・省力化を支援

(1) 授業準備の省力化

教材の標準機能として備わっている、
・指導案
・プログラミング実行環境
により、教職員による授業準備時間の削減を実現

(2) 評価作業の効率化

観点別評価に対応した教材設計により、授業設計から評価までの一連の校務負担削減を実現

(3) 充実した資材で円滑な授業進行を補助

授業にそのまま活用できる授業スライドや
模擬授業の動画コンテンツ等、指導に必要な資材が充実しており、深い専門知識を有していなくても指導が可能

効率化・省力化を支援する
教職員業務区分

3: 授業準備

4: 成績処理

2: 授業

6: 生徒指導
(個別)

サービスの活用風景・授業の流れ

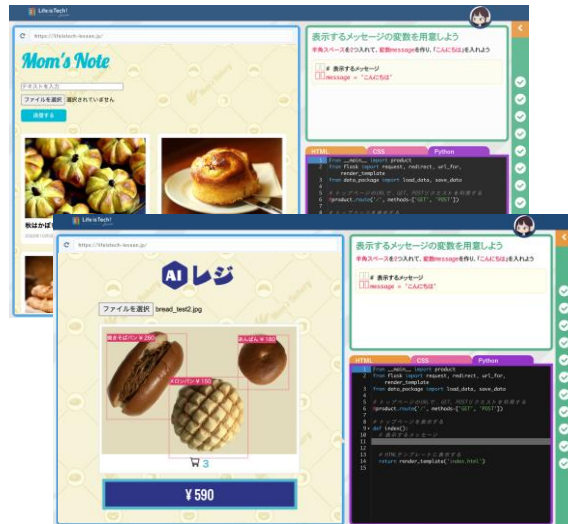
中学・技術科 / 高校・情報科でプログラミングの「基礎」を学んだ上で、
総合学習などでの「自主制作」を通じて探究力や課題解決力を育成

基礎学習

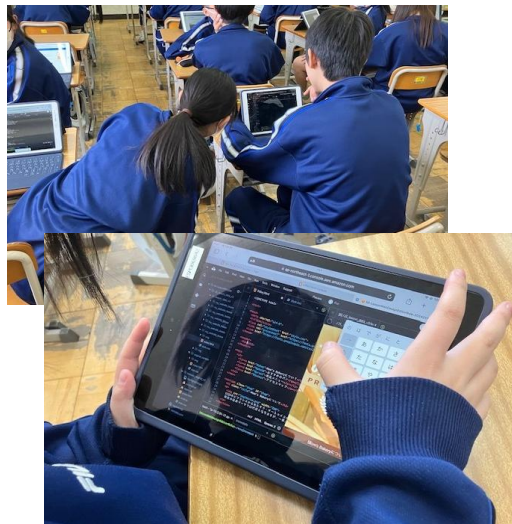
中学・技術科 / 高校・情報科の授業での活用

学習指導要領で定められたプログラミングなどに関する知識やスキルを、「実習」を通じて学習

▼ 学習内容例：パン屋さんのWebサイトを作成しながらプログラミングの基礎を学習



▼ 授業風景例：生徒が自学自習しつつ、教員が各生徒の進捗状況に応じて個別サポート



応用学習

総合学習 / 課外授業などで、オリジナルWebサイトを制作

調べたこと・考えたことを、どう伝えるか
「自主制作」を通じて探究力や課題解決力を育成

Webサイト作品例①



Webサイト作品例②



■ 探究・校務改革支援補助金における導入実証実績

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	79	学校等教育機関数	255校
--------	----	----------	------

学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容		
1	羽幌町教育委員会	羽幌町立羽幌中学校 他1校	北海道	中学校	1年生	すべて 「授業」「授業準備」「生徒指導(個別)」	21	江東区教育委員会	江東区立第三砂町中学校	東京都	中学校	2年生	すべて 「授業」「授業準備」「生徒指導(個別)」
2	厚沢部町教育委員会	厚沢部町立厚沢部中学校	北海道	中学校	1.2.3年生		22	新島村教育委員会	新島村立式根島中学校	東京都	中学校	1.2.3年生	
3	鹿追町教育委員会	鹿追町立瓜幕中学校 他1校	北海道	中学校	1.2年生		23	杉並区教育委員会	杉並区立東田中学校	東京都	中学校	2.3年生	
4	木古内町教育委員会	木古内町立木古内中学校	北海道	中学校	1.2.3年生		24	東京都教育委員会	東京都立翔陽高等学校 他2校	東京都	高等学校	1.3年生	
5	岩見沢市教育委員会	岩見沢市立北村中学校	北海道	中学校	1.3年生		25	府中市教育委員会	府中市立府中第五中学校 他1校	東京都	中学校	1.2.3年生	
6	釧路市教育委員会	釧路市立大楽毛中学校 他1校	北海道	中学校	1.2.3年生		26	学校法人駒澤大学	駒澤大学附属苫小牧高等学校	東京都	高等学校	3年生	
7	中富良野町教育委員会	中富良野町立中富良野中学校	北海道	中学校	3年生		27	学校法人東海大学	東海大学付属熊本星翔高等学校 東海大学付属静岡翔洋高等学校	東京都 静岡県	高等学校	1.2.3年生	
8	八戸市教育委員会	八戸市立下長中学校 他3校	青森県	中学校	1.3年生		28	相模原市教育委員会	相模原市立藤野中学校 他2校	神奈川県	中学校	3年生	
9	宮城県教育委員会	宮城県仙台東高等学校	宮城県	高等学校	2年生		29	横浜市教育委員会	横浜市立平楽中学校 他1校	神奈川県	中学校	1.2.3年生	
10	登米市教育委員会	登米市立豊里中学校	宮城県	中学校	2.3年生		30	石川県教育委員会	石川県立七尾高等学校	石川県	高等学校	1.2.3年生	
11	学校法人椎野学園	米沢中央高等学校	山形県	高等学校	1.2.3年生		31	敦賀市教育委員会	敦賀市立粟野中学校 他4校	福井県	中学校	1年生	
12	南相馬市教育委員会	南相馬市立鹿島中学校 他5校	福島県	中学校	1.2.3年生		32	甲州市教育委員会	甲州市立塩山中学校 他2校	山梨県	中学校	1.2.3年生	
13	福島市教育委員会	福島市立岳陽中学校 他19校	福島県	中学校	1年生		33	諏訪市教育委員会	諏訪市立上諏訪中学校 他3校	長野県	中学校	1.2.3年生	
14	藤岡市教育委員会	藤岡市立東中学校	群馬県	中学校	1年生		34	上田市教育委員会	上田市立丸子北中学校	長野県	中学校	2年生	
15	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市立城北中学校	群馬県	中学校	2年生		35	長野県教育委員会	長野県屋代高等学校・附属中学校	長野県	中学校	2.3年生	
16	入間市教育委員会	入間市立金子中学校 他9校	埼玉県	中学校	1.2.3年生		36	焼津市教育委員会	焼津市立港中学校 他8校	静岡県	中学校	1.2.3年生	
17	埼玉県教育委員会	埼玉県立鷲宮高等学校 他1校	埼玉県	高等学校	1.2.3年生		37	静岡県教育委員会	静岡県立科学技術高等学校	静岡県	高等学校	1.2.3年生	
18	学校法人早稲田学園	わせかく高等学校	東京都	高等学校	1.2.3年生		38	学校法人静岡雙葉学園	静岡雙葉高等学校	静岡県	高等学校	1.2年生	
19	大島町教育委員会	大島町立第一中学校 他2校	東京都	中学校	1年生		39	豊橋市教育委員会	豊橋市立羽田中学校 他17校	愛知県	中学校	1.2.3年生	
20	江戸川区教育委員会	江戸川区立二之江中学校 他1校	東京都	中学校	1.2.3年生		40	伊勢市教育委員会	伊勢市立二見中学校 他1校	三重県	中学校	1.2.3年生	

■探究・校務改革支援補助金における導入実証実績

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容		
41	三重県教育委員会	三重県立久居高等学校	三重県	高等学校	3年生	すべて 「授業」「授業準備」「生徒指導(個別)」	61	東広島市教育委員会	東広島市立磯松中学校 他14校	広島県	中学校	1.3年生	すべて 「授業」「授業準備」「生徒指導(個別)」
42	四日市市教育委員会	四日市市立南中学校	三重県	中学校	1年生		62	府中市教育委員会	府中市立上下中学校 他3校	広島県	中学校	1年生	
43	学校法人日生学園	桜丘高等学校(三重)	三重県	高等学校	3年生		63	大竹市教育委員会	大竹市立大竹中学校	広島県	中学校	3年生	
44	長浜市教育委員会	長浜市立びわ中学校 他11校	滋賀県	中学校	1.2.3年生		64	阿武町教育委員会	阿武町立阿武中学校	山口県	中学校	1年生	
45	京丹波町教育委員会	京丹波町立蒲生野中学校	京都府	中学校	3年生		65	岩国市教育委員会	岩国市立岩国西中学校 他13校	山口県	中学校	1.2.3年生	
46	学校法人敬愛学園	国学館高等学校	京都府	高等学校	2.3年生		66	山陽小野田市教育委員会	山陽小野田市立植生中学校 他1校	山口県	中学校	1.2.3年生	
47	羽曳野市教育委員会	羽曳野市立高鷲中学校 他5校	大阪府	中学校	1.2.3年生		67	宇和島市教育委員会	宇和島市立吉田中学校 他5校	愛媛県	中学校	1.2.3年生	
48	堺市教育委員会	堺市立三原台中学校	大阪府	中学校	1年生		68	奈半利町教育委員会	奈半利町立奈半利中学校	高知県	中学校	1.2.3年生	
49	香美町教育委員会	香美町立香住第一中学校 他2校	兵庫県	中学校	1.2.3年生		69	学校法人土佐高等学校	土佐高等学校	高知県	高等学校	1.2.3年生	
50	高砂市教育委員会	高砂市立荒井中学校 他5校	兵庫県	中学校	1.2.3年生		70	築上町教育委員会	築上町立築城中学校 他1校	福岡県	中学校	1年生	
51	川西市教育委員会	川西市立多田中学校	兵庫県	中学校	1年生		71	那珂川市教育委員会	那珂川市立那珂川中学校 他2校	福岡県	中学校	1.2.3年生	
52	豊岡市教育委員会	豊岡市立豊岡北中学校	兵庫県	中学校	1.2.3年生		72	久留米市教育委員会	久留米市立田主丸中学校 他1校	福岡県	中学校	2.3年生	
53	西宮市教育委員会	西宮市立西宮高等学校	兵庫県	高等学校	1.2年生		73	田川市教育委員会	田川市立小中一貫校猪位金学園	福岡県	中学校	3年生	
54	兵庫県教育委員会	兵庫県立明石北高等学校	兵庫県	高等学校	2.3年生		74	屋久島町教育委員会	屋久島町立安房中学校 他3校	鹿児島県	中学校	1.2.3年生	
55	宇陀市教育委員会	宇陀市立室生中学校 他2校	奈良県	中学校	1年生		75	志布志市教育委員会	志布志市立伊崎田中学校 他4校	鹿児島県	中学校	1.2.3年生	
56	奈良県教育委員会	奈良県立西和清陵高等学校	奈良県	高等学校	1年生		76	枕崎市教育委員会	枕崎市立桜山中学校 他3校	鹿児島県	中学校	1.2.3年生	
57	岩美町教育委員会	岩美町立岩美中学校	鳥取県	中学校	3年生		77	霧島市教育委員会	霧島市立横川中学校 他10校	鹿児島県	中学校	1.2.3年生	
58	松江市教育委員会	松江市立湖南中学校 他5校	島根県	中学校	1.2.3年生		78	学校法人川島学園	鹿児島実業高等学校	鹿児島県	高等学校	1.3年生	
59	早島町教育委員会	早島町立早島中学校	岡山県	中学校	1年生		79	沖縄県教育委員会	沖縄県立知念高等学校	沖縄県	高等学校	2.3年生	
60	岡山県教育委員会	岡山県立東岡山工業高等学校	岡山県	高等学校	1.3年生								

■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的
効果検証

ライフズテック レッスン導入により、
授業準備の時間を効率化しつつ、授業に対する自信度も向上

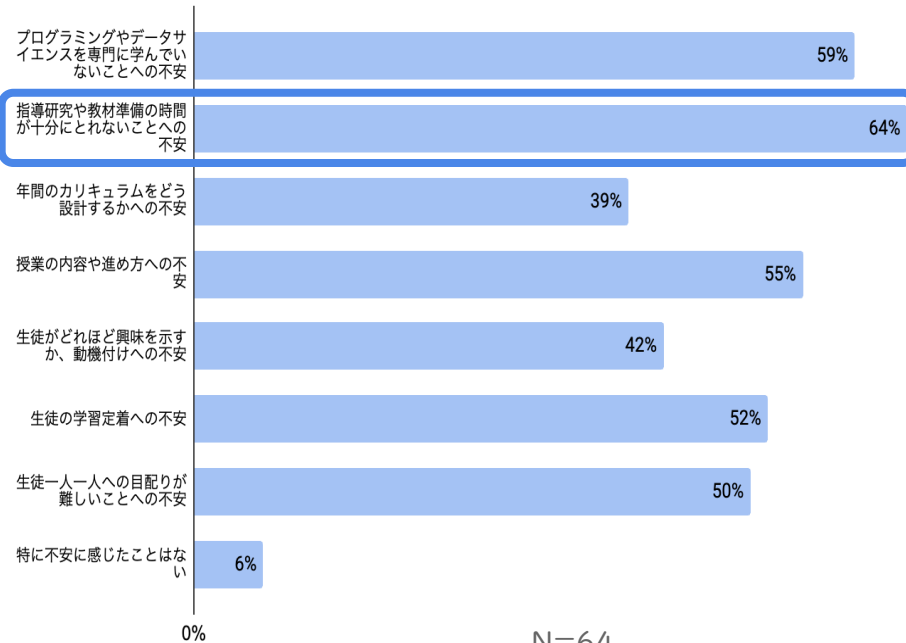
導入前

導入後

教員の6割が
十分な準備時間が取れない
ことに不安を感じていた

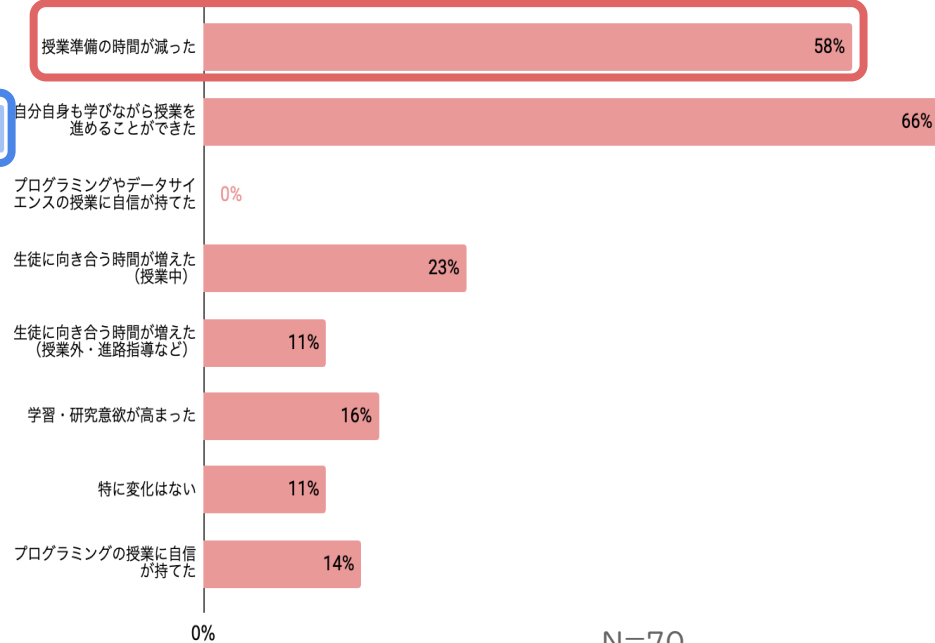
59%の教員の準備時間の削減に貢献しつつ
教員の授業に対する自信度が1.1ポイント上昇

授業開始前の不安点



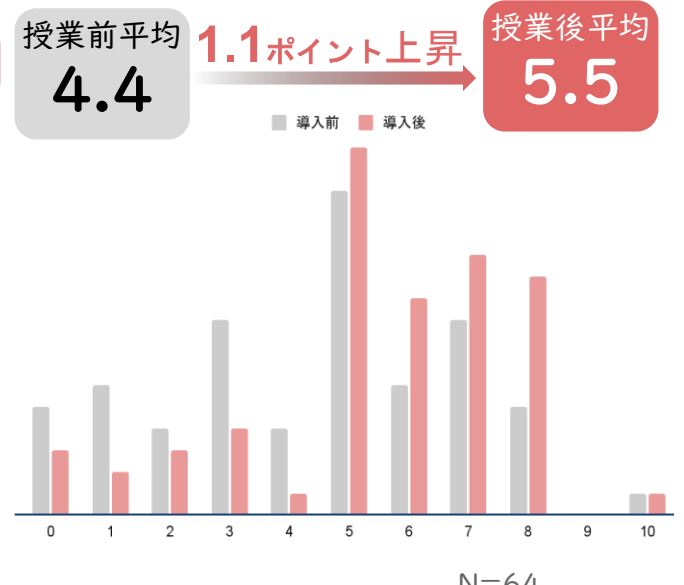
N=64
※高校のみ1年目のみ回答

導入による変化



N=70

授業に対する自信度



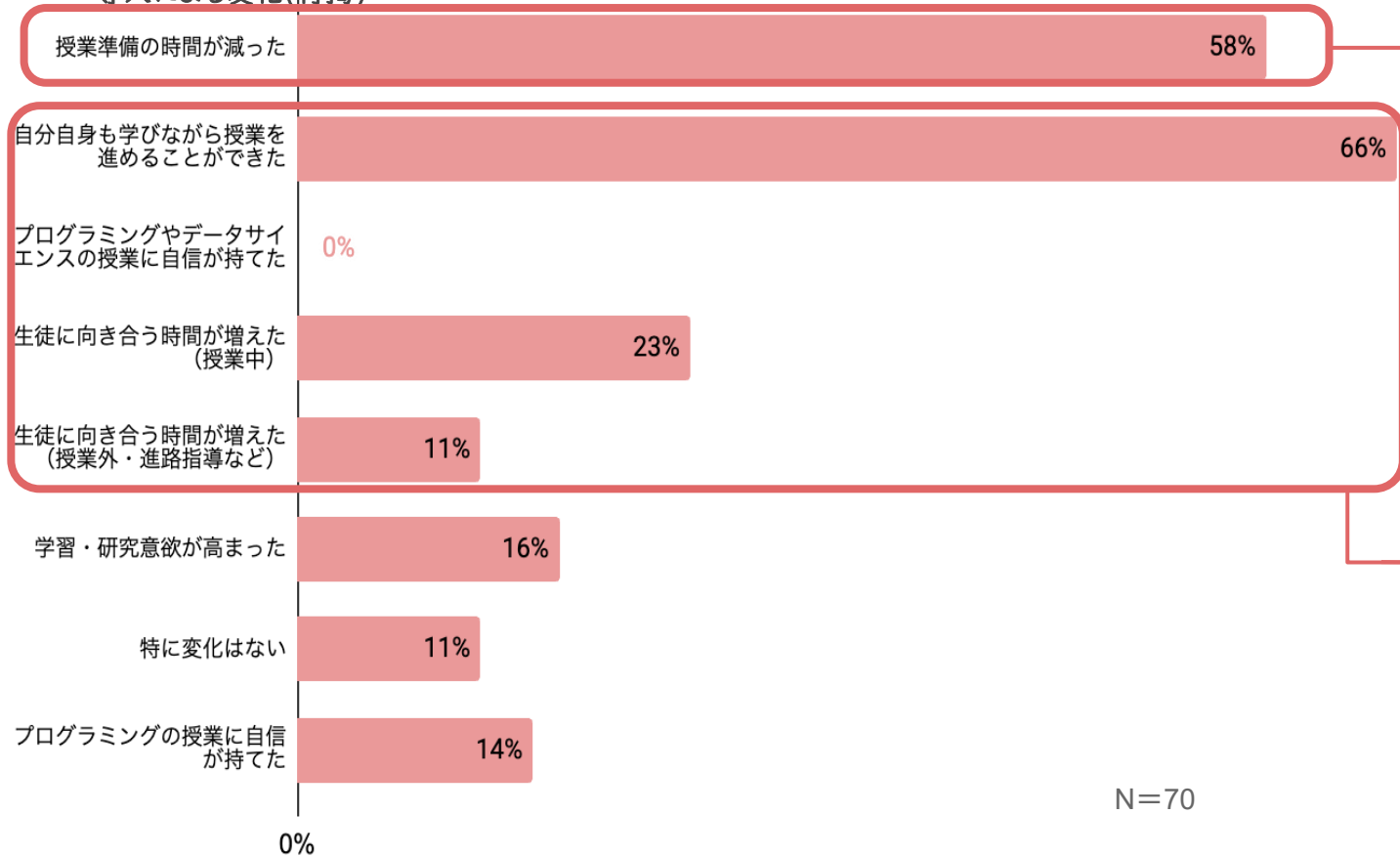
授業前平均 **4.4** → 1.1ポイント上昇 → 授業後平均 **5.5**

N=64
※高校のみ1年目のみ回答

定量的/定性的
効果検証

特に負担の大きかったプログラミングなどの実習準備の効率化に加え、
観点別評価と連動した教材設計で評価業務の円滑化にも貢献

導入による変化(再掲)



N=70

授業準備

- プログラミング演習では環境をこちらで設定する必要がなく、クラウド上ですべてが完結したことが大変ありがたかったです。
- 授業準備の時間が大幅に短縮出来る。
- プログラミング実行環境のために使わせていただいている。以前は時間をかけてやっていたことが大幅に自動化され、働き方改革につながる結果を得られた。

高校

高校

高校

授業進行

- ドリルとテストの生徒の取り組み状況の把握が簡単にできる
- 配付資料や授業の進め方があるので、臨時免許状保持者で授業する先生にとっては良い。
- 説明が丁寧でわかりやすい。自身もレッスンをを使った教材研究を通してプログラミングの知見が深まった。

AIドリル

中学

中学

評価

- 生徒の評価材料が段階的に準備されている。
- プログラミング環境が整っているのが効率的に(業務を)行える。観点別評価に非常に役立つ。

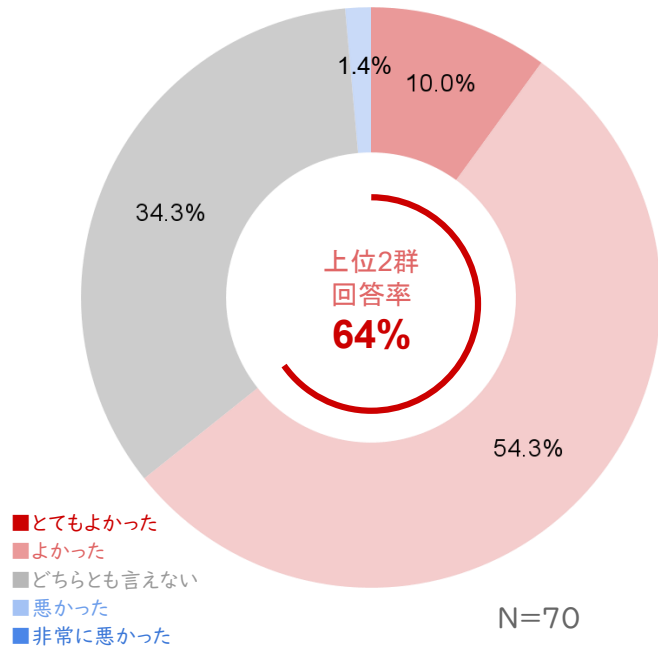
中学

高校

定量的
効果検証

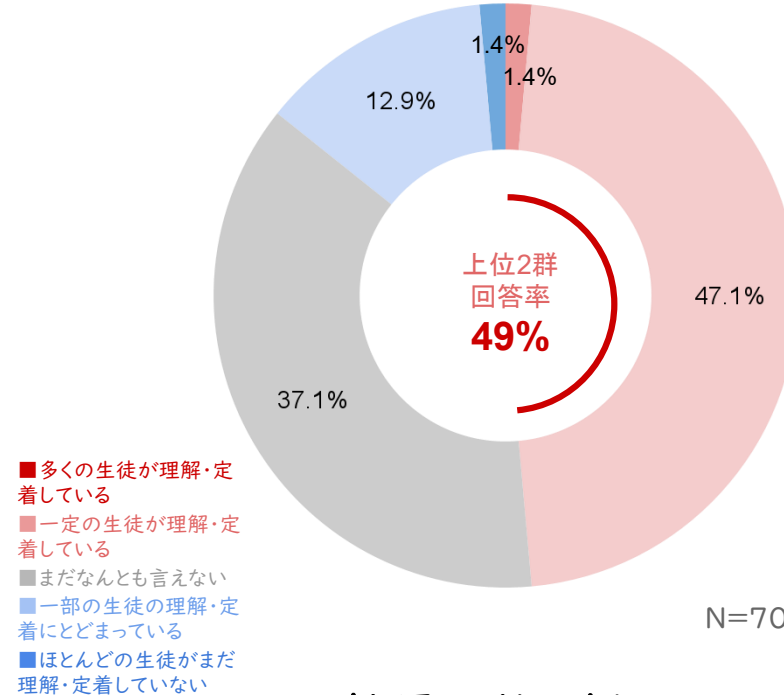
業務の効率化・自信向上に加え、
生徒の好反応、学習の定着、主体的な取り組みを実感

生徒の反応



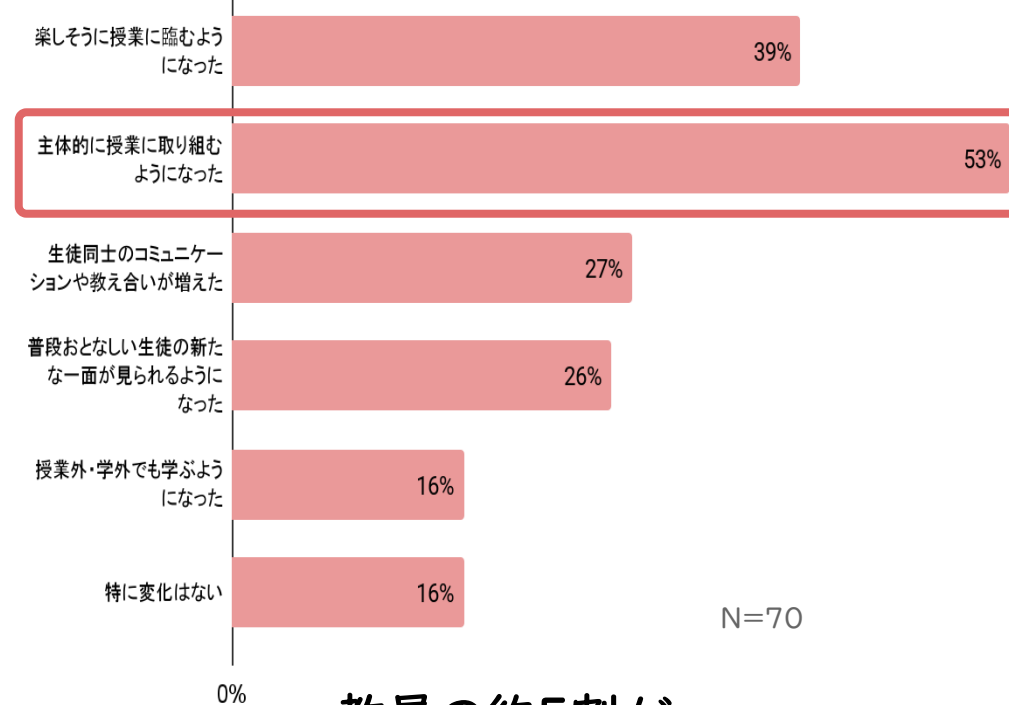
教員の約6割が
生徒の好反応を実感

生徒の定着度



教員の約5割が
生徒の学習定着を実感

生徒の変化

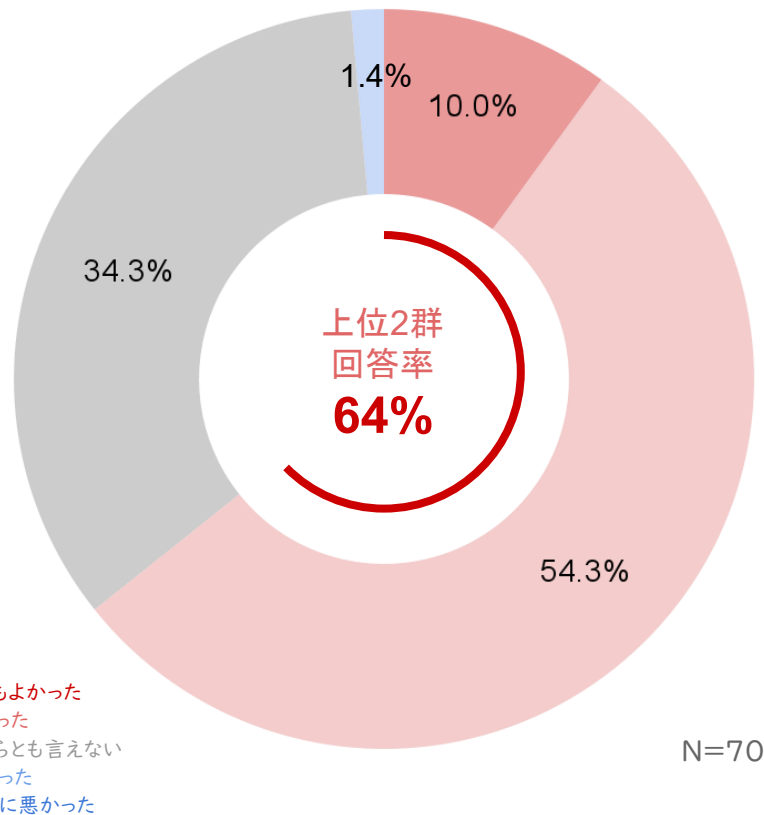


教員の約5割が
生徒の主体的な取り組みを実感

定量的/定性的
効果検証

苦手意識を持つ生徒の成長実感や、将来の進路への意識変化など 教職員が気づかなかった生徒の特性、変化を実感

生徒の反応(再掲)



- 教材に工夫があって、前向きに取り組める。プログラムを作成するのが**苦手だった生徒が、「先生できた!」と嬉しそうに報告**してくれた。
- 普段はすぐにワークの答えを見て書き写してしまったり、他人に答えを求める生徒も、**自ら試行錯誤して取り組もうとする姿**が見られた。
- 難しい内容でも、**あきらめずに取り組む姿勢**が見えた。
自分が**わかることを積極的に他者に教える姿**が増えた。
- 授業で使っている**生徒の反応はとてもよく、積極的にプログラムの変更を試みている姿**が印象的だった。
- プログラムなど全く無縁だと思っていた「自称文系女子」という生徒が、**とてもはまっていた。自分自身の将来の進路に幅を持って考えてみようという話をしていたのが印象的**だった。
- 日頃、おとなしい生徒が、予定以上の早さでレッスンを進め、**周囲の生徒から尊敬のまなざしで注目されていることが印象**に残っています。

高校

高校

高校

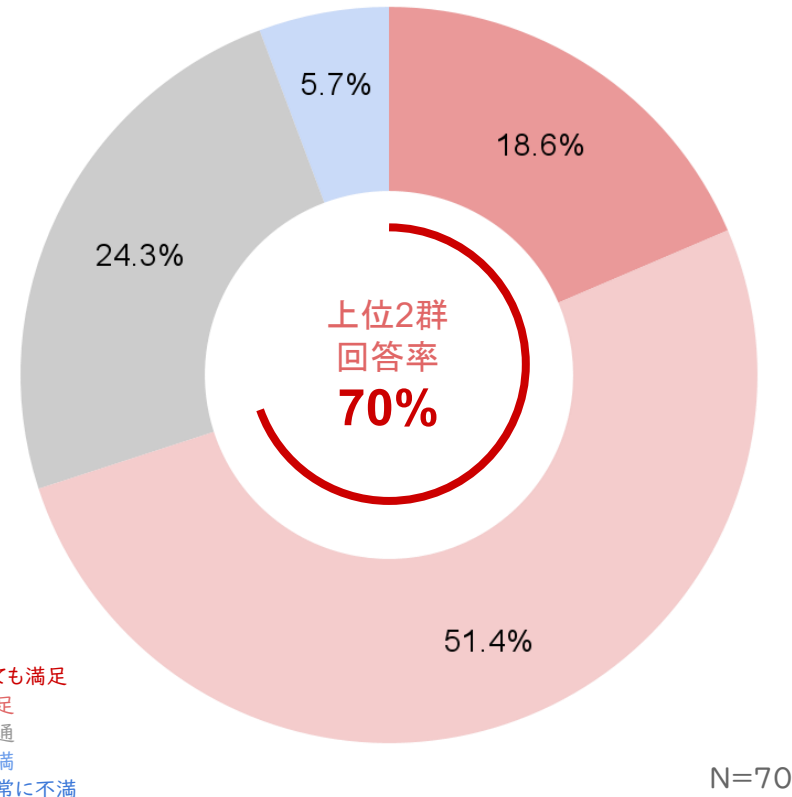
中学

中学

中学

個別最適な学習が実現でき、授業時数も考慮した教材設計が好評 探究学習にも利用できる教材としての評価の声もあがった

教材への満足度



- 生徒の状況に合わせて、必要なところだけをピンポイントで学習したり確認したり出来るところが便利。
- (教材に含まれる)「オリジナルWebサイト制作」は探究学習の延長として「課題解決」の中で取り組ませており、ライフイズテック主催の「Webサイト制作コンテスト」に全員応募させている。
- 専門の知識がなくても、授業を進められるところはとても助かった。
- これまで、題材を考えたり、カリキュラムをつくったりすることには、非常に手間がかかってきました。また、自分のやり方が正しい(合っている)のかについても疑問を感じることもありました。その点、学習内容やカリキュラム(時数)をしっかりと考慮してくれているので、安心感があります。
- 生徒の習熟度や進捗に個人差があり、個別対応が必要な生徒もいれば、そうでない生徒もいる。そうでない生徒は自分でどんどん学習が進むため、教師は対応が必要な生徒に関わる時間が十分にとれる。
- 一人ひとりの生徒が自分のペースで学習を進められる点は良いと思います。ホームページ作成の段階では、それぞれの習熟度に合わせて組み立てができるのも魅力です。

高校

高校

高校

中学

中学

中学

活用上の躓きの解消と学習効果の最大化に向けて 操作の簡略化と学習可能範囲の拡充を実施予定

直面した課題

- ① **教職員のリテラシーに起因する初期設定の躓き**
教職員のログイン→生徒アカウントの発行→カリキュラム設定といった、授業開始前の環境設定での滞留が一部発生
- ② **利用シーンのばらつき大きさ**
どのような用途・場面(授業・授業外、全クラス・特定クラスなど)で利用しているかが不明瞭であり、さらなる改善の範囲を定めにくい
- ③ **(中学)科目内での学びの連続性**
当社教材が技術科のD(1)(2)対応の教材であるため、学校ではD(3)単元の学習に別の教材を用いる必要がある。別教材を用いることで、連続性ある学びの実現ができておらず、結果として、教職員の教材研究の負担、保護者の教材費負担が増加

解決するための改善策

- ① **プロダクトの初期設定を大きく簡略化**
操作を簡略化することで、スムーズな利用開始を促す改善を令和8年度4月より実装予定
- ② **利用シーンの特定とシーン別の最適なサポート**
年度はじめの顧客サポートにて利用シーンの特定を行い、学校・教職員のニーズに合わせた顧客サポートを実施
- ③ **学習可能範囲のさらなる拡充**
(中学)技術科D(3)の学習コンテンツの追加により、1つの教材でD区分すべての学習が可能に

■会社概要

社名	ライフイズテック株式会社
代表	水野 雄介
設立年月	2010年7月6日
本社	東京都港区南麻布2-12-3 南麻布ビル1階
資本金等	1億円
売上高等	2,730,455千円
従業員数	158人
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・中高生向けIT・プログラミング教育キャンプ/スクール/イベントの企画・運営・オンラインプログラミング・情報教育サービスの開発・運営・自治体・学校・法人向け研修事業の企画・運営

■お問い合わせ窓口

担当:菊澤 彩子

電話:070-8831-5964

Mail:kikuzawa@lifeistech.co.jp